

視 点

中小企業の皆様の
「頼りがいのあるパートナー」として

山口県信用保証協会会長 松岡 正憲



山口県内景気は、「緩やかに回復している」とされているものの、県内中小企業の皆様を取り巻く経営環境は、物価や人件費の高騰、人手不足、金融市場の変動、さらには、混迷する中東情勢の長期化に伴う原油価格の高騰や石油由来製品の調達不足・コスト上昇など、依然として厳しくかつ先行きも不透明な状況が続いています。

このような社会経済情勢の中で、当協会は、公的機関としての公共性と社会的責任の下、県内中小企業の皆様の「頼りがいのあるパートナー」として、「金融と経営の両面からの一体的支援」を柱に据え、様々な関係機関の皆様との連携をさらに強化しながら、常に「対話と傾聴」を心掛け、ライフステージの様々な局面や状況に応じ、事業者の皆様に寄り添ったきめ細やかで実効性のある支援を行うことにより、一層の役割を果たしてまいりたいと考えています。

このため、特に今年度においては、これまでの取組に加えて、まず、保証部門では、税理士等の皆様と連携して、定期的に財務や資金繰りの状況等を把握することにより、適時適切な経営支援等に繋げることを目的とした「モニタリング強化型特別保証制度」を新たに創設するとともに、脱炭素化への取組支援として県中小企業制度融資である「脱炭素経営未来投資応援資金」の信用保証料率の引下げを新たに行いました。

また、積極的な事業展開等を支援するため、一定条件等の下で経営者保証を徴求しない信用保証の取扱を引き続き推進していきます。（ちなみに、昨年度の「経営者保証非徴求割合」は約42%で全国の協会でトップレベルでした。）

次に、期中管理・経営支援部門では、経営状況や経営課題を早期に把握し、経営改善等に繋げていくため、全営業店に新たに経営支援担当者を配置し体制強化を図ったところであり、積極的に企業訪問等を行っていきます。

また、県内中小企業の経営課題が複雑・困難化する中で、実情に応じた最善の支援提供に向けて、中小企業支援機関や金融機関等の皆様と連携しながら、各地域における経営・金融両面からの一体的な支援基盤を構築し、中小企業の皆様の効果的かつ迅速な経営改善・事業再生等を図ることを目的とした「地域の経営・金融一体型支援ネットワーク」の形成に取り組んでいます。

具体的には、令和6年度は山口・防府、柳井圏域、昨年度は周南、萩、長門圏域、そして今年度は新たに下関、宇部・小野田、岩国圏域にプラットフォームを構築し、圏域ごとに各関係機関の支援制度等の情報共有や意見交換等による目線合わせを行いながら連携を強化するとともに、支援担当者のスキルアップに向けた研修・セミナー等の開催、支援チームによる事業者様への具体的な資金繰り支援や経営改善等の方向性を定める個社支援に積極的に取り組んでいます。

私ども山口県信用保証協会は、今後とも、こうした事業等を通じて、県内中小企業の皆様の「頼りがいのあるパートナー」として、持続的な経営の安定や成長・発展に一層貢献できるよう、役職員一丸となって誠心誠意全力で取り組んでまいります。

山口県信用
保証協会 HP